

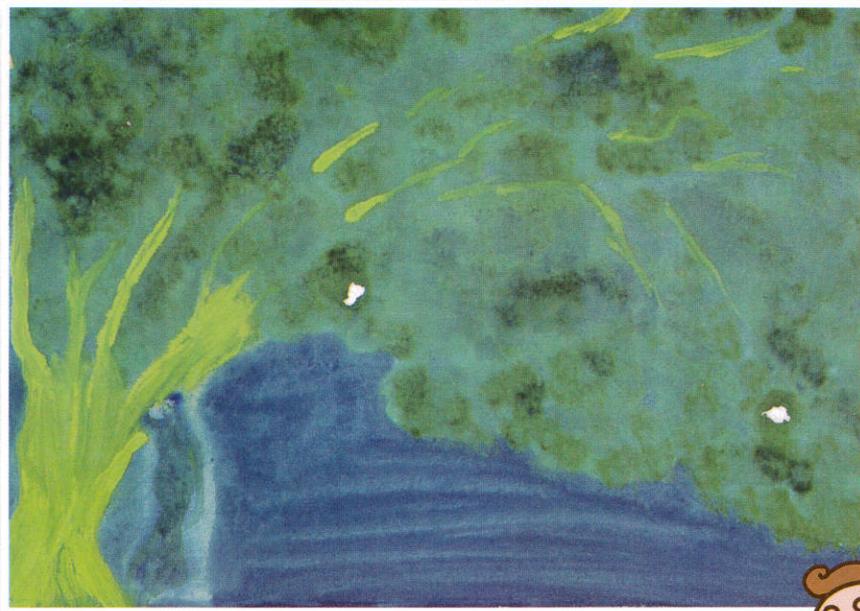
# 陽だまり通信

[季刊誌]

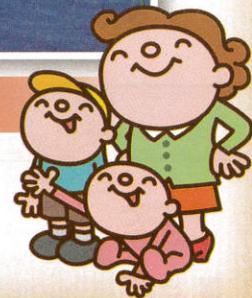
Vol. 42

2012年10月15日発行

## 作品紹介



新 三千代さん (四季が丘)



### CONTENTS

#### 特集 北米ツアー2012

院長交代／あまのクリニック新サービスの紹介  
職員サークル紹介／施設情報／みなさまの声  
フラワーアレンジメント

<http://www.amano-reha.com>

# 院長交代

## 退任のごあいさつ



親愛なる皆さんへ

大事なお話をしようと思います。私事、天野純子は平成24年10月1日を持ちまして、アマノリハビリテーション病院院長を退任する事となりました。引き続き、アマノリハビリテーション病院で勤務をします。いなくなるわけではありません。今後は医療法人ハートフルの理事長業務に専念する事となります。

後任の院長には、私の医局の大先輩である川上恭司先生が就任されます。川上先生は、立派な心臓血管外科医で、広島総合病院の副院長を長くされた方です。縁あって、今年の4月からアマノリハビリテーション病院に勤務して下さっていました。川上先生の魅力は、「大きさ」といいます。いろいろな物を受け入れて動じない、器の大きさではないでしょうか。先生自身が輝いておられる方で、周囲の人達も輝かせてしまう力を持っておられます。何故、院長交代が必要なのか、ということをお話しますね。それは、川上先生という人をお迎えすることができて、これからアマノリハビリテーション病院を「日本一強くて、輝いている病院」にしてゆかために、川上先生の力が重要だと思われるからです。平成5年に、「アマノ病院」が串戸に産声をあげてから、もう20年です。最初の10年は、存続することで精一杯でした。その後の10年は、介護保険への対応や事業の拡大、現在の基盤を作ることで精一杯でした。そして、これからは、川上新院長を迎えて、力を充実させてゆく10年になってゆくと思います。

これから、アマノリハビリテーション病院をよろしくお願いたします。

医療法人ハートフル理事長 天野純子

## 就任のごあいさつ



はじめまして

今回、天野純子先生の後を引き継ぎ、院長に就任致しました川上と申します。

1977年、広島大学を卒業、以後、一貫して心臓血管外科の道を歩んで参りました。1988年には広島総合病院に赴任し心臓血管外科を開設、その後、10年前より副院長として総合病院の経営のお手伝いをさせて頂きました。医師になって35年は一貫して急性期疾患の治療に携わり、今年4月よりは、当院において慢性期疾患の治療に専念しております。

疾患の種類にかかわらず、私のモットーである「世のため人のため」を継続して推進して行こうと思っておりますので、今後とも、御協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

医療法人ハートフル院長 川上 恭司

# 特集 北米ツアー2012

医療法人ハートフル理事長 天野純子

6月に、社会医療研究所主催の北米医療視察旅行がありました。当法人から、私と法人管理部長の大塚が参加してきました。旅行記風に報告したいと思います。

2012年6月9日 成田空港よりシカゴへ出発！12時間のフライト予定。その後、乗り継いでクリーブランドへ。成田空港で、ツアー参加の人達と合流し、名刺交換。岡山の岡山旭東病院の理事長先生をはじめ、熊本、徳島、高松、青森、大阪などから医師、看護師、リハビリ療法士、臨床工学士、事務職の方々が参加されました。総勢27名！いざ出発！

6月10日 長時間のフライトの後、やっとシカゴ到着。そこからまた2時間飛行機を乗り継いで、クリーブランドに到着。9日に日本をたったのに、9日の午後にはUSAに着きました。日付変更線を通ったからです。不思議な感じでした。

ホテルに着いた頃はもう夜になっていました。ホテル内のフードコートで遅めの夕食。アメリカのビッグサイズにびっくり!!

6月11日 いよいよ視察ツアーの始まりです。まず訪問したのは、「Stewart's Caring Place」(スチュワートのケアセンター)は、癌患者さんとその家族をサポートするあらゆるプログラムを無償で提供しているところです。お母さんが癌の治療を受けることになった子供達のケアも、遺族の方に対するケアも充実しています。素晴らしいです。抗がん剤投与のために脱毛する人達がかわらな無償で借りることができるようになっています。これは、Stewartさん、というPTさんが自身が癌を発症され、癌患者とその家族のために作られた施設です。随所にやさしさと癒しがあふれているところでした。

6月12日 午前中、Regency Hospitalの見学をしました。ここは、「長期急性期病院(Long Term Acute Care)」です。日本ではまだ聞き慣れない言葉ですが、日本の「亜急性期病床」のイメージでしょうか。ここは、急性期病院のワンフロアー、賃貸契約をして、急性期の治療が終わった患者さん達の受け入れをしていました。アメリカは、急性期病院の平均在院日数が5日です。これを達成するために、急性期後の医療を担う医療機関の整備が進んでいます。

6月13日 午前中、Akron General Medical Centerを見学。ここは「急性期病院」の「癌治療センター」があります。癌に闘病中、充実した治療プログラムを提供しており、医療スタッフの教育等も受け持っています。「ダウンチ」という医療ロボットを使用した低侵襲の手術も実施されていました。

午後にはAkron Generalの傘下にあるEdwin Shaw Rehabilitation Centerを見学しました。やはり、生活に必要なリハビリテーションを重視されていました。ゴルフのバターの練習場があったのも印象的です。「例え障害があ

6月10日 時差調節のため、自由時間。夕方、今回のツアーのコーディネートをしてくださった、ポールドゥイン、ワラス大学のピックラー先生のピックラー教授宅でウェルカムパーティがありました。ピックラー先生は、医療経営学の教授で、大の日本ファン。

午後からは、Metro Health Systemという、急性期病院を見学しました。ここは、脳卒中センターを有しOccupational Therapy Center があります。実際の生活、職業に復帰するためのあらゆるリハビリプログラムが提供できるようなっています。写真は、イージーストリートの一部です。

6月13日 午前中、Akron General Medical Centerを見学。ここは「急性期病院」の「癌治療センター」があります。癌に闘病中、充実した治療プログラムを提供しており、医療スタッフの教育等も受け持っています。「ダウンチ」という医療ロボットを使用した低侵襲の手術も実施されていました。

6月14日 ツアーも残り少なくなってきました。この日は終日EMH Regional Healthcare Systemの見学でした。EMHの急性期病院は、心臓治療に特化しています。心疾患のある人を運動させる事で、寿命を有意に延ばすことができるそうです。これを「心臓リハビリテーション」といいます。ここで、も積極的に取り組んでおられました。在宅に帰った人達の為のフィットネスクラブを持っていて、そこがなんと、ER(救命救急ユニット)の隣！担当の人に聞いてみると、たまたま、なのだそう。

6月15日 今日にはツアー最終日です。午前中は先日LTAAC病院を見学させていただいたRegency Hospitalのもう一つのタイプのLTAAC病院を見学させていただきました。先日は、急性期病院の一部を借りて運営されていたLTAACでしたが、今回は単独で運営するフルスタングタイプのLTAACです。ゆったりとした造りで、周囲は緑がいっぱい！こんなところで療養できたらいいな！、と思います。40床の病院ですが、呼吸器をつけた患者さんや脊髄損傷、肺炎など呼吸器の疾患のある患者さん、透析が必要で、リハビリの必要な患者さん等、重傷な人達が入院しております。このため、患者さん40人に対して、看護師さんやリハのセラピスト、Drや薬剤師等、1200人のスタッフたちが関わっています。日本ではとても不可能です。日本で最も手厚い看護基準は7対1看護、患者さん7人に対して1人の看護師が対応します。アメリカでその話をすると、「すこいね。患者1人に7人の看護師なんだね」という返事が。いいえ、その逆です。これはぜひ、厚生省の方達にがんばってもらいたい！

6月10日 時差調節のため、自由時間。夕方、今回のツアーのコーディネートをしてくださった、ポールドゥイン、ワラス大学のピックラー先生のピックラー教授宅でウェルカムパーティがありました。ピックラー先生は、医療経営学の教授で、大の日本ファン。

午後からは、Metro Health Systemという、急性期病院を見学しました。ここは、脳卒中センターを有しOccupational Therapy Center があります。実際の生活、職業に復帰するためのあらゆるリハビリプログラムが提供できるようなっています。写真は、イージーストリートの一部です。

6月13日 午前中、Akron General Medical Centerを見学。ここは「急性期病院」の「癌治療センター」があります。癌に闘病中、充実した治療プログラムを提供しており、医療スタッフの教育等も受け持っています。「ダウンチ」という医療ロボットを使用した低侵襲の手術も実施されていました。

6月14日 ツアーも残り少なくなってきました。この日は終日EMH Regional Healthcare Systemの見学でした。EMHの急性期病院は、心臓治療に特化しています。心疾患のある人を運動させる事で、寿命を有意に延ばすことができるそうです。これを「心臓リハビリテーション」といいます。ここで、も積極的に取り組んでおられました。在宅に帰った人達の為のフィットネスクラブを持っていて、そこがなんと、ER(救命救急ユニット)の隣！担当の人に聞いてみると、たまたま、なのだそう。

6月15日 今日にはツアー最終日です。午前中は先日LTAAC病院を見学させていただいたRegency Hospitalのもう一つのタイプのLTAAC病院を見学させていただきました。先日は、急性期病院の一部を借りて運営されていたLTAACでしたが、今回は単独で運営するフルスタングタイプのLTAACです。ゆったりとした造りで、周囲は緑がいっぱい！こんなところで療養できたらいいな！、と思います。40床の病院ですが、呼吸器をつけた患者さんや脊髄損傷、肺炎など呼吸器の疾患のある患者さん、透析が必要で、リハビリの必要な患者さん等、重傷な人達が入院しております。このため、患者さん40人に対して、看護師さんやリハのセラピスト、Drや薬剤師等、1200人のスタッフたちが関わっています。日本ではとても不可能です。日本で最も手厚い看護基準は7対1看護、患者さん7人に対して1人の看護師が対応します。アメリカでその話をすると、「すこいね。患者1人に7人の看護師なんだね」という返事が。いいえ、その逆です。これはぜひ、厚生省の方達にがんばってもらいたい！



▲天野理事長、ピックラー先生、奥様のキャロラインさん、大塚部長



ホテル内のフードコートで遅めの夕食。



午後からは、Metro Health Systemという、急性期病院を見学しました。



6月13日 午前中、Akron General Medical Centerを見学。



6月14日 ツアーも残り少なくなってきました。



6月15日 今日にはツアー最終日です。



最後は、クリーブランドの近くにあるエリー湖を眺めました。

**職員  
サークル  
紹介**



**バレーボール**

こんにちは、アマノリハビリテーション病院のバレー部です。  
平成24年6月24日に広島県看護協会廿日市支部主催のバレーボール大会があり、男子・女子でアベック優勝しました！応援して下さった方々、ありがとうございました。  
昨年の大会では男女とも準優勝だったので、今年こそは優勝を！と奮起して頑張りました。毎週火曜日の業務終了後に限られた時間の中で、仲間達と汗をかき、楽しく、そして時には厳しく？練習した成果が出たのだと嬉しく思います。

また、今大会では念願であったユニフォームを揃えてもらいました！みんな、よく似合っていると思います！？

私たちバレーボール部は、仕事仲間と仕事以外のことで熱中できるものがあることは、大変素晴らしいことだと感じています。今後も大切な仲間たちと仕事、バレーボールを頑張っていきたいと思います。来年も優勝を狙うべく、よりアマノの結束力を高めていきたいと思っています。今後も応援よろしくお願い致します。

理学療法士 田邊 裕子

**優勝しました！**



**NEW!**  
**あまのクリニック通所リハビリテーション  
新サービスの紹介**

あまのクリニックでは今年7月から新たに短時間（1〜2時間）での通所リハビリの受付も始め、現在数名が利用されています（表1）。  
食事、入浴サービスが必要なく「リハビリを頑張りたい」という方にお勧めの介護保険サービスです。ご家族と一緒に、もしくはご自身で来所いただきリハビリを行います。

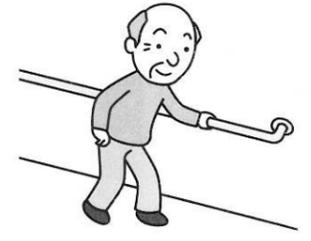


短時間通所でのリハビリでは健康チェックを行なったのち、一人ひとりの症状・生活環境に合わせてリハビリ専門職員がマンツーマンで個別リハビリを行います。また状況に応じて持久力強化を目的

【表1】あまのクリニック通所リハビリ 利用可能サービス

	新サービス		
	1〜2時間	3〜4時間	6〜8時間
送迎	×	△	○
食事	×	○	○
入浴	×	○	○
個別リハビリ	○	○	○

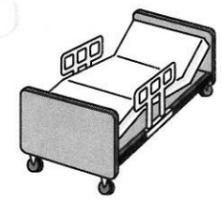
とした機器や痛みに対する物理療法を併用しADL（日常生活活動）能力の向上を図ります。



医療保険での外来リハビリとは異なり、通所リハビリでは利用開始後1ヶ月以内に担当セラピストが居宅訪問を行い、評価・検査・観察を行なったのちリハビリ計画を立案し個別リハビリを実施していきます。また希望に応じて月1回再度居宅訪問を実施し、実際の生活場面で在宅生活における不安な点や問題点を解決、解消できるよう提案させていただきます。短時間通所リハビリでの個別リハビリの1ヶ月の上限回数は退院後3ヶ月までは制限

がなく、3ヶ月以降は13回（1回＝20分）までと2時間以上の通所リハビリと変わってありません。1日あたりのリハビリ時間は2時間以上の通所リハビリとは異なり退院後3ヶ月以内は上限がなく、3ヶ月以降も60分程度個別リハビリを行なうことが可能です（表2）。

運動が継続的に必要な方、在宅生活に不便を感じている方、介護に不安を抱いているご家族の方々、ご相談、見学を随時受け付けておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。  
あまのクリニックでは今後も地域の皆様の要望に少しでも多くお応えし、在宅生活、地域生活を支援できるよう取り組んでまいります。



【表2】1日あたりの個別リハビリ時間と1ヶ月のリハビリ上限回数

	退院から1ヶ月以内		退院から1〜3ヶ月		退院から3ヶ月以降	
	1日	1ヶ月	1日	1ヶ月	1日	1ヶ月
短時間通所	40〜60分	/	40〜60分	/	40〜60分	13回 (1回=20分)
2時間以上の通所	40分		20分		20分	

# 施設情報

医療法人ハートフルのさまざまな施設で行われた催しをご紹介します。

## あまのクリニック

### 「アマノ一座が熱演！」

9月10日、原市民センターで、天野院長を筆頭に、アマノ一座が介護保険について知ってもらうため講演を行いました。



職員一同、不慣れなお芝居にトライしましたが、原にお住まいの皆さんが熱心に見てくださり、時には笑いもあり、嬉しく思いました。  
今回のお芝居で、少しでも介護保険を知っていただける機会になればよいと思います。

## ゆつゆつあまの

### 「敬老会」

皆様方は多くの喜びや悲しみを乗り越え、今日まで歩んでこられました。  
ですから一つお願いしたいと思えます。

暑い夏が少しだけ過ぎ、秋の足音を感じる9月。それはゆうゆうにとっても特別な月です。

敬老会の準備はいつも以上に念入りに。ボランティアの方による催し物の調整や、手作りのデザート作成、クス玉や記念品の準備など。



職員一同、心をこめて頑張りました。

そして、迎えた本番……。節目の年を迎えられた方を始め、利用者の皆様より、笑顔と明るさを沢山頂戴し本当に心温まるひと時となりました。

ゆうゆうをこれまでも利用して頂きまして、ありがとうございます。そして、これからもよろしく願います。

## ハートフルあまの

### 「外出活動」

7月17日、利用者様2名と職員2名でイオンモール府中ソレイユに外出活動に行ってきました。利用者様のご希望で今回はJRに乗りして外出するのが楽しみな様子で、廿日市駅に到着すると、にこにこ」とされていました。やってきた電車はなんとカーブ電車!!喜びも倍増です。電車からはすぐ近くにマツダスタジアムも見えたりして、景色を見て楽しみました。  
ソレイユではお昼ご飯を食べ、買い物したり、ゲーム

で、夏の雰囲気味わっていただけだと思います。

## カーサミニア

### 「折り紙教室」

カーサミニアでは月に一回折り紙ボランティアの方々に来ていただき、折り紙教室を行なっています。

季節に合った作品を丁寧に教えていただき、入居者様とスタッフとで笑いの絶えない和やかな時間を過ごしています。7月は傘と金魚、8月は朝顔を作られました。作った作品は居室に持ち帰り飾ってくださいっています。



をしたりと思い思いに行動されました。7月の日射しの中、あいプラザからは片道1時間ほどの長旅でしたが、とても充実した一日を過ごされたと思います。  
今後も皆様に楽しんでいただけるような活動をしていきたいと思えます。

## 望海の里

### 「夏祭り」

望海の里では、8月18日に夏祭りを実施しました。今回は夜店に力を入れて、祭りを楽しんでいた  
だきました。  
お盆過ぎという日もあり、少し涼しくなった屋上



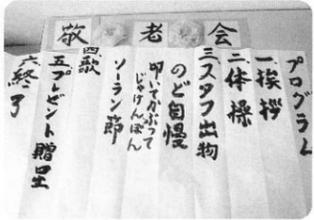
## 医療デイケア

### 「医療デイケア敬老会を行います。」

9月20日(木)医療デイケアにて、敬老会を開催致します。

開催にあたり、スタッフ、ご利用者様にて、敬老会の準備を行っています。

ご利用者様に、習字でプログラム等を書いて頂いたり、プレゼントカードの準備をして頂いています。スタッフの



出し物として、踊りを披露させて頂く予定で、日々練習を行っています。敬老会は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨とし、毎年敬老会を開催しています。  
今年も皆様に楽しんでいた

## 通所リハビリ

### 「音楽会を開催しました」

ボランテアで来て頂いた、ムジークシユトラーセンさんによる音楽会を開きました。聞き慣れた昭和の唄が今風にアレンジされ、とても新鮮に聞こえました。利用者様からも大絶賛で、アンコールまで飛び出しました♪



# みなさまの声

① 医事課の●●さん、挨拶を全然してくれませんか。朝から無視されるのは、とても不快です。●●さん以外にも挨拶をしてくれない人はいますが、会議など開いて挨拶ぐらい徹底してくれませんか。

患者様に不快感をお与えし、申し訳ありませんでした。挨拶をはじめ受付での対応を指導致しました。今後も接遇研修などを通して職員教育を行っていく所存です。

② リハビリ作業療法士の●●さんは朝、待合室の前を二度通られたので私は二度とも「おはようございます。」と挨拶をしたのだけど、私の方をチラッと見ただけで無言でした。挨拶もできないのですか。

このたびは、接遇面でのご指導ありがとうございます。

す。医療従事者の基本であり、接遇教育を実施しておりますが、今後、より確実に実践できるよう教育してまいります。

③ 院長先生にお願い。6月12日エコーによる検査受診を受けました。担当医師伊藤先生、エコー受診中、後でカメラで写真を撮らせて下さいねとお願いしました。しかし、伊藤先生が写真を差し上げますと頂いた写真、残念ながら一般人が見ても良く分からないものでした。私が差し出した写真の様に写るエコー機械を設置して下さいます様をお願いします。

ご指導ありがとうございます。検査機器の新しいさから、このような問題が起こったものと認識します。機器の更新につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。また、検査結果についても、わかりやすく、丁寧な説明を心掛けています。わからないことは遠慮なく申し出て下さい。

④ 朝6時半から、いつも待合室で診察を待っているのですが、照明をつけてほしいです。

ご不便をおかけして申し訳ありません。当院では、CO<sub>2</sub>排出削減を目標とし、省エネを推進しています。待合室の照明につきましても、午後のリハビリを含む診察時間を中心に点灯していることに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



⑤ パンにつけるいちじくジャムは止めてほしいです。

食パン、ロールパンの日には、基本、「いちじくジャム」をつけて出しています。苦手な方が「少ない」と思いますが、「いちじくジャム」にしていますが、「りんごジャム」、「マーマレード」、「ピーナッツバター」もありますので、どうしても苦手な場合は、栄養士までご相談下さい。

# フラワーアレンジメント



藤上 悦子 作

今年の夏も大変厳しい猛暑でしたがやっと朝晩、涼しさを感じるようになりました。8月のレッスンは特別に加工されたプリザーブドフラワーを使っているレッスンです。通称プリザーブドと呼ばれるものは生花を脱色、着色、乾燥したもので何年も生花のような弾力を保ちます。今回は、夏に相応しい真っ白なフォトフレームにプリザーブドフラワーやリボンなどを使い、デコレーションしました。一見簡単な印象ですが、デコレーションは配置、花の向き、高低差などで随分表情が変化するのが特徴です。今回の作品は、フォトフレームを横に決めメインのお花はピンクのバラに決められました。バラは花びらを一枚ずつ広げ見事に開花されています。そしてピンク系と白紫系に分けそれらの花をより引き立てるよう小花や紫陽花を添えられています。そして最後にリボンや真珠で装飾しました。レッスン生の方が苦労されるリボンですが、リボンと真珠の流れを大変上手く生かされ、とても美しく仕上がりました。中に入れる物は、人物だけでなく風景やスケッチなどを入れても映える作品です。ギフトにしても大変喜ばれると思います。

講師 木村 里美

天野 純子…内科・リハビリテーション科 福田 裕恭…内科・心療内科 川上 恭司…循環器科 中島 康…内科・循環器科  
青森 和俊…内科・心療内科 山根 浩介…内科・放射線科 木村 浩彰…リハビリテーション科 日域 育子…リハビリテーション科  
奥田 由香…皮膚科 河村理英子…小児科 西山奈緒子…内科・リハビリテーション科

## アマノリハビリテーション病院

2012年10月現在

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～12時	内科	中島 康 内科・循環器科	天野 純子 内科・リハビリ	山根 浩介 内科・放射線科	西山奈緒子 内科・リハビリ	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	心療内科・神経科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	—	—	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科
午後		休診					

## あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～13時	内科	山根 浩介 内科・放射線科	—	休診	天野 純子 内科・リハビリ	—	—
	心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科		福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科
午後 2時 ～5時	内科	—	中島 康 内科・循環器科		—	—	—
	心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科	休診	福田 裕恭 内科・心療内科	

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。



医療法人ハートフルは、みなさまへのよりよい情報提供に努めています。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

## アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9 TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科

診療時間 午前9時～12時

休診日 日曜・祝日



## あまのクリニック

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151

診療科目 内科・循環器科・心療内科・リハビリテーション科

診療時間 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時

休診日 水曜・金曜(午後)・日曜・祝日

●通所リハビリテーション ●重度認知症患者ケア

### ■高齢者デイサービスセンターゆうゆうあまの

廿日市市新宮1丁目13-1  
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F  
TEL.0829-20-1620  
電話対応可能時間 全曜日可能  
午前8時30分～午後5時30分

### ■地域活動支援センターハートフルあまの

廿日市市新宮1丁目13-1  
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F  
TEL.0829-20-1624  
電話対応可能時間 月曜～金曜  
午前8時30分～午後5時30分

### ■訪問看護ステーションハートフルステーションあまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212  
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

### ■アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37  
TEL.0829-31-5213  
電話対応可能時間 月曜～土曜  
午前8時30分～午後5時30分

### ■広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

廿日市市新宮1丁目13-1  
廿日市市総合健康福祉センターあいプラザ内3F  
TEL.0829-20-1227  
電話対応可能時間 月曜～金曜  
午前9時30分～午後5時

### ■介護付有料老人ホーム望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

### ■介護付有料老人ホームカーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

### ■発達支援教室おひさま

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166  
電話対応可能時間 日・祝日・水曜日除く 午前8時30分～午後6時